

令和5年 3月3日

保護者様

京都市立南大内小学校
校長 皆川 真有美

令和4年度 学校評価アンケート＜後期＞

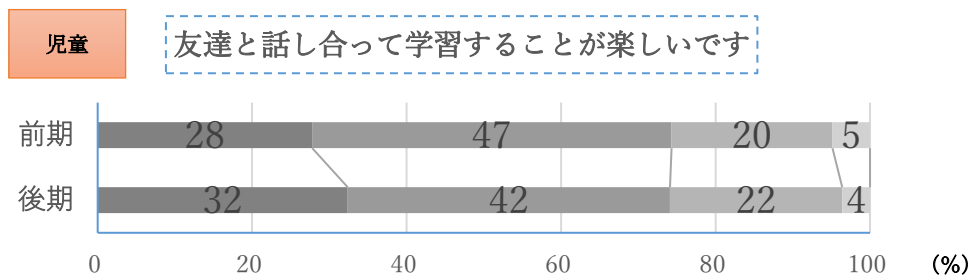
平素より本校教育推進に多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、12月に実施しました学校評価アンケートについてお伝えします。前期と後期の結果を比較することを中心に整理・分析を行いました。アンケート結果をもとに、今後の教育活動をさらに進めていきたいと思ひます。アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

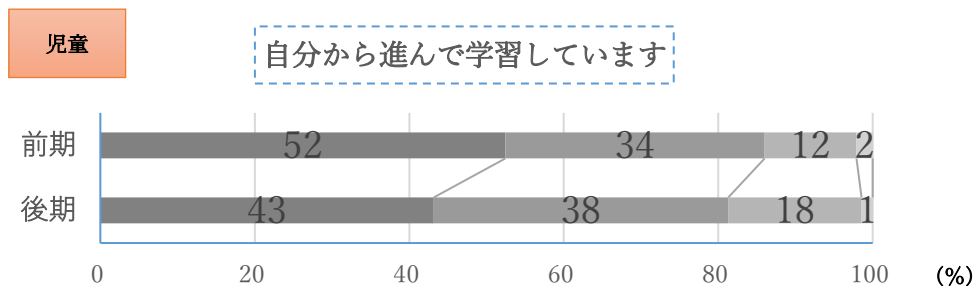
* グラフの項目・・・左から そう思う 大体そう思う あまりそう思わない そう思わない

1 学習について

本校では、『対話的な学び』を大切に教育活動を行っています。充実した話し合い活動を目指すことが、子どもたちの学ぶ楽しさにつながると考え取組を進めてきました。「友達と話し合って学習することが楽しいです。」の項目を見ると、前期よりも『そう思う』の割合が上がっていました。教育活動の成果がでていると思ひます。

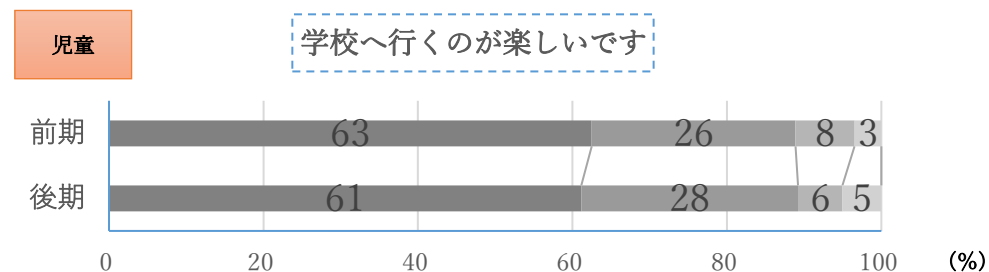
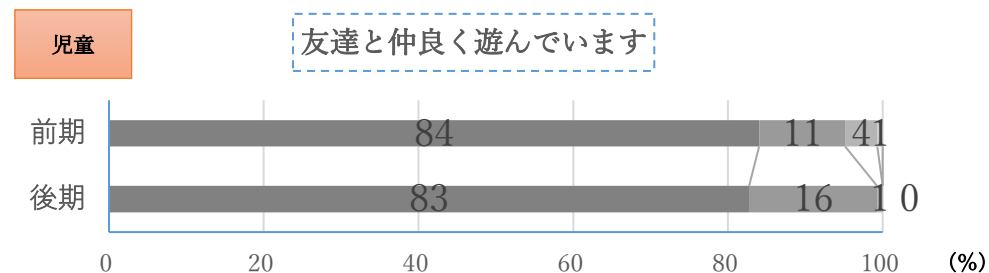


しかし、「自分から進んで学習しています」についての項目を見ると、『そう思う』の割合が前期に比べて下がっていました。子どもたちが主体的に学びを進めていくためには、もう少し丁寧な手立てを考え、実践していく必要があると考えます。

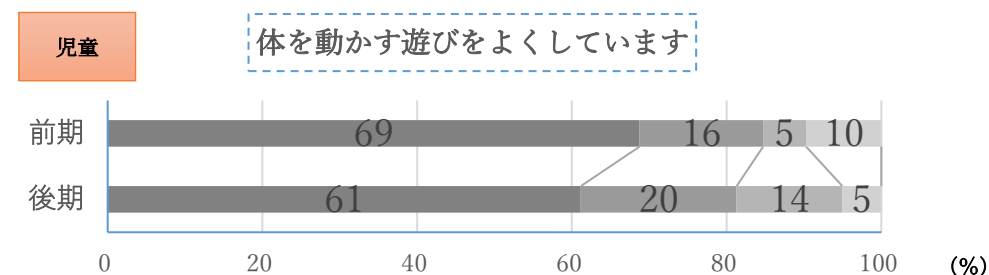
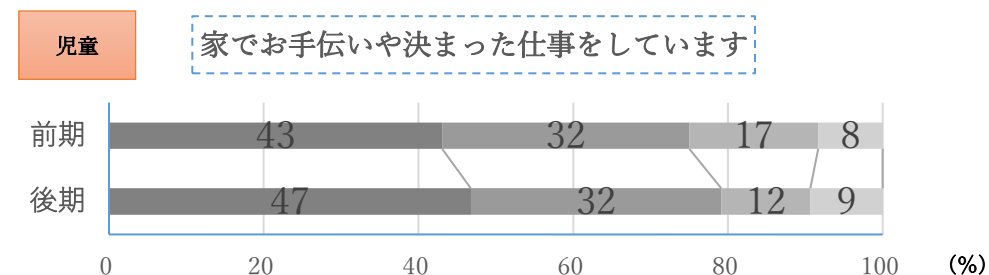


2 生活について

「友達と仲良く遊んでいます」「学校へ行くのが楽しいです」の項目を見ると、肯定的な割合が、前期に引き続き高いことがわかります。おおむね友達との関係は良好であり、学校へ行くことが楽しいということにつながっていると考えられます。今後も、子どもたちの実態を適切に把握し、細やかな対応を心がけていきます。

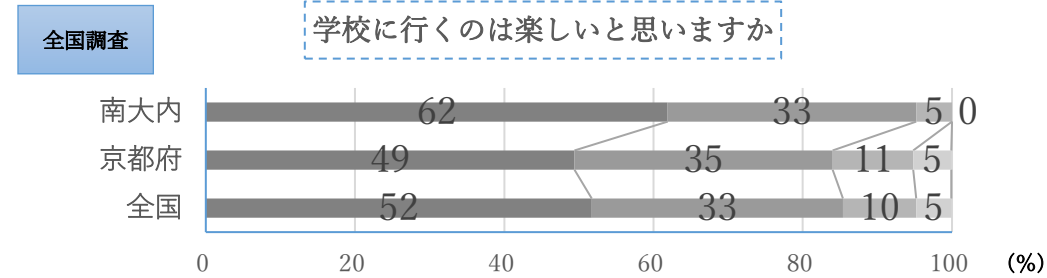


「家でお手伝いや決まった仕事をしています」の項目を見ると、前期の時よりも肯定的な割合が上がっていました。ご家庭での働きかけもあって、改善が見られたのだと思ひます。「体を動かす遊びをよくしています」の項目は、前期のアンケートと比べて、肯定的な割合が下がっていました。適度な運動のためにも、今後も外での遊びを子どもたちに推奨していきます。

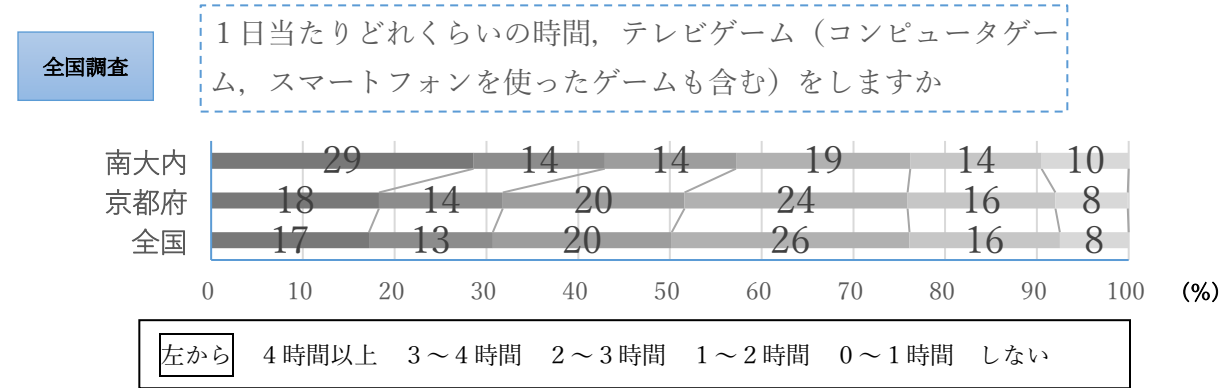


3 全国調査と比較して

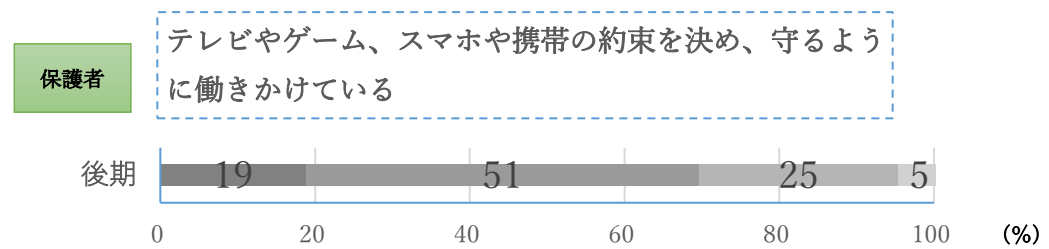
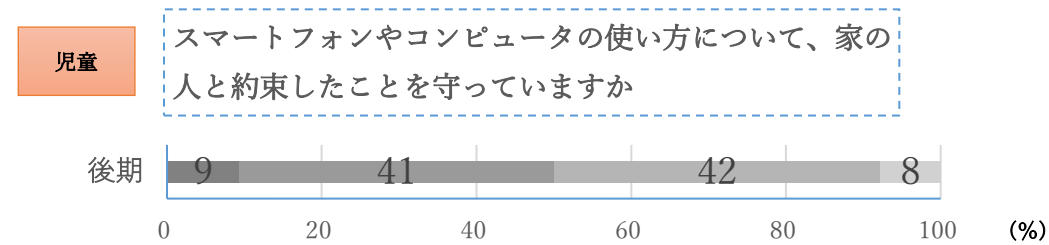
令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果（現6年児童が回答）と、学校評価アンケートを比較しながら、学校の実態を分析しました。先ほど述べた「学校へ行くのが楽しいです」の項目を見ると、下の結果からも、南大内小学校の児童は、学校生活が楽しいものであると感じていることがわかります。



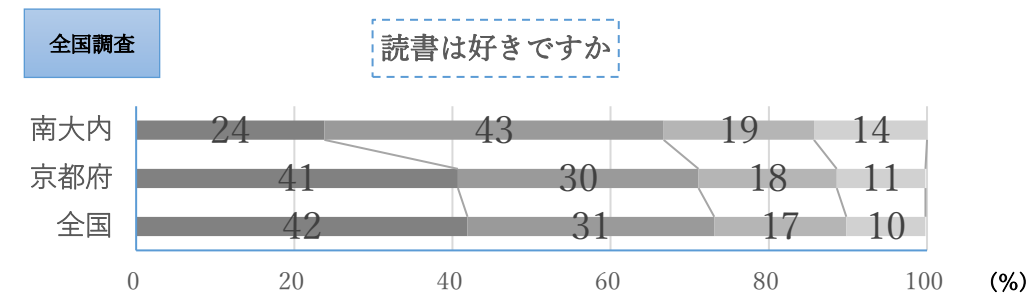
「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム，スマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」の項目では、全国に比べてテレビゲームの時間が長いことがわかります。



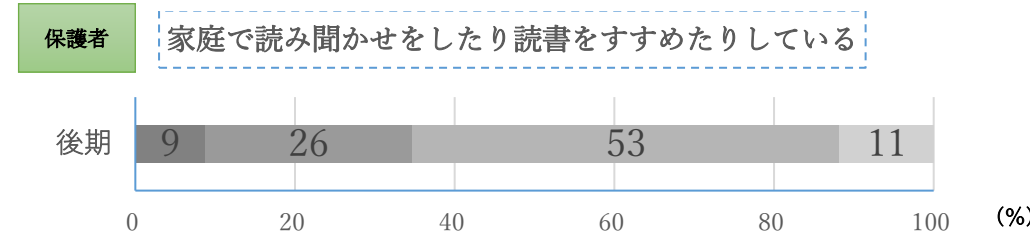
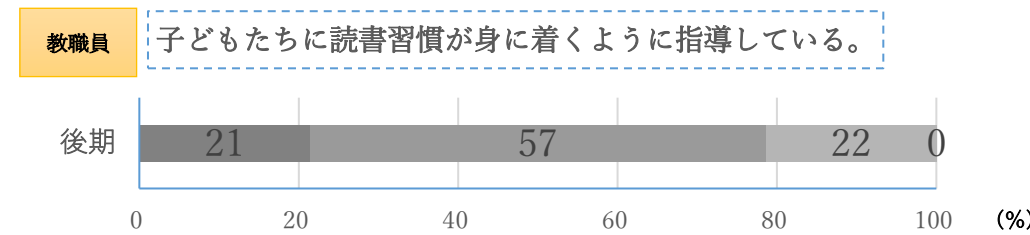
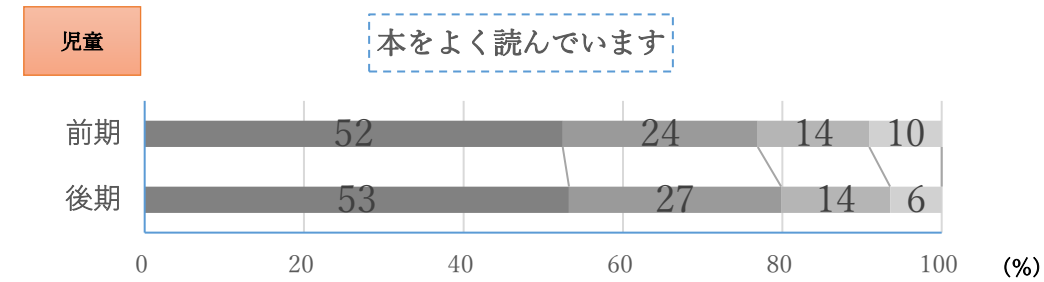
学校アンケートの「スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」では、およそ半分の児童が『あまりそう思わない・そう思わない』とあり、これがテレビゲームの時間が長いことにつながっているのではないかと考えられます。もう一度、各家庭で約束について確認してみてもいいでしょうか。



「読書は好きですか」の項目については、全国に比べて読書好きな児童が少ないという結果となっています。



学校評価アンケートの「本をよく読んでいます」では、読書をしている児童が多いことがわかるのですが、全国調査の結果と比べてみると、読書に魅力を感じていない児童もいるようです。これからは、学校図書館をもっと有効に活用し、読書習慣を身に付けることができるようにするとともに、読書の楽しさを伝えていければと思います。ご家庭でも、子どもたちが本にふれる機会を増やしてみてもいいでしょうか。



全国調査の結果と学校評価アンケート比較しながら分析することで、南大内小学校の強みや弱みも見えてきました。これからも、この結果を生かし、子どもたちの学校生活や学びを充実したものにしていきます。今後とも、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。